

●住み続けたいまちづくり

◆安心して住める・住んで楽しいまちづくり

新規
赤羽根診療所の開所

6390万円

医師空白地域である赤羽根地区に公設民営の診療所を開所します。厚生連渥美病院が指定管理者となって運営します。※場所は赤羽根福祉センター旧保健センター部分



新規
女性消防団員の任用

120万円

女性消防団員を新たに任用し、救命講習の指導や各種行事への参加など、女性ならではのきめ細やかな活動をしていきます。大規模災害時には後方支援活動を実施します。

拡充
消防力の強化

1億7620万円

消防車両や消防団車両、救急車両の更新、消防団詰所庫庫の整備、消防団員への新基準活動服の貸与など、消防力のより一層の強化に努めます。

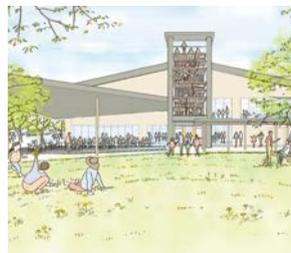


◆若い世代の出産・子育て環境の充実

新規
親子交流施設の整備

7億6050万円

三河田原駅前に、子育て包括支援センター、子育て支援ルームなどの機能を備えた親子交流施設を整備し、安心して子育てができる街を目指します。



継続
母子保健の推進

360万円

初産妊婦への全戸訪問や、産後ケアによる育児支援、産婦の健康診査費用の一部助成など、安心して妊娠・出産・育児ができる環境づくりを推進します。

新規
国民健康保険税の市独自減免

870万円

子育て世代の国民健康保険税の負担軽減を図るため、未就学児の市独自減免を実施します。

◆教育環境の充実

新規
福江中学校の整備

8500万円

平成31年度からの伊良湖岬中学校との統合に向けて、生徒を受け入れるために学校施設を改修整備します。

拡充
英語教育の推進

2000万円

平成32年度からの小学校での英語の教科化に備え、移行期対応英語教育を推進するとともに、外国語教育推進コーナーを配置し、安定した質の高い授業を目指します。

拡充
学校・家庭・地域の連携による教育支援

1120万円

問題を抱える児童生徒が落ち着いて学習できる環境を整備するため、スクールソーシャルワーカーや特別支援教育特別支援員を増員し、支援体制を強化します。

●持続可能な地域づくりと

行政基盤づくり

拡充
新斎場の建設

2億4750万円

田原斎場・渥美斎場を集約した新斎場建設に向けて、造成工事などに着手します。

継続
ごみ減量・資源化の推進

6800万円

2月から始まった家庭系ごみ有料化により、費用負担の公平性を確保するとともに、さらなるごみ減量・資源化を推進します。